

## ◆平成26年度近畿地区指導者講習会

開催日 平成26年5月10日(土)・11日(日)  
主任講師 魚住一郎 範士八段 (愛知県)  
講師 石井勝之 範士八段 (千葉県)  
受講生 近畿2府4県からの34名  
(錬士21名、教士13名)  
会場 大阪城公園弓道場

講習会初日は魚住主任講師の矢渡しの後、石井講師から介添への講評がありました。続いて受講生が一手行射を行いました。二日目は石井講師の巻藁射礼で始まり、主に射礼・射技の研修を行いました。

## ■伝達事項

弓道誌5月号に載っている主任講師/講師研修の5つの課題研修事項が主たる伝達事項です。

①審査席と退場口とが並列に近い射場の足さばきについて： 審査会場が狭かったり、2射場に分かれるなどで退場口が審査員席のラインに近い場合、本座線を越えたら準備に入り、小足で方向転換し、正対して揖を行い、退場口の中央を直角に3足で下座足で出る。

②立射の射手が坐射と一緒に持的射礼(一つの間の間合い)を行う場合について： 立射の射手は、前の射手が後退し始めた時に取り矢を行う。

③正しい的付けについて： 足踏み、胴造り、物見、両肩のすわり(三重十文字)が正しく行われ、正しい的付けになっているか見る。

④開き足について： 床から膝を離さないように、膝を他方の膝にしっかりかぶせ、お尻を踵にドンと下ろさない。  
(教本第一巻77-79頁参照)

⑤矢束の長短について： 矢束は射手の体型・上腕・下腕の長さなどを見て判断すべきであり、本矧の位置で一律に判断しない。(矢羽の長さを調整することも一方法)

その他の伝達事項としては

- ・ 「密猟された猛禽類の羽を使った矢羽の件」
- ・ 「倫理に関するガイドラインの件」
- ・ 「競技規則の変更」

について資料の配布があり、簡単な説明がありました。

## ■射礼研修

射技にはスランプがあるが、体配にはスランプがないので稽古に励み、そして指導者として恥じない体配を習得すべきとの話がありました。

礼・揖をする際は誰に向かってするのかを考えて行うこと。①入場の礼は上座(神棚、国旗、審査委員長)へ、②定め座の礼は受礼者へ、③本座の揖は全体・射場・的へ、それぞれ正対し行う。

(右上へ)

## ■指導者としての心構え

- ・ 体配・射技について教本に則した指導を行うと共に弓道に関しての深い見識をもつように努力をすること。
- ・ 相手との信頼関係の構築が大切であり、そのために指導者としての在るべき姿とは何かを考えること。この先生の言うことなら聞いてみようと思われるように。
- ・ 弓道は長いスパンで学ぶものであるから、工夫稽古を行うよう指導し、教えすぎないようにすること。
- ・ 教えることで己が学ぶこと。

講師の先生方から多くのことを教えていただくとともに、課題もいただきました。私の班の石井講師が厳しいながらも、サービス精神が旺盛で、自分の経験から得たノウハウを披露される態度に感謝するとともに、親しみを感じました。なお、奈良県からは写真のとおり、藤岡、山本、東中、綿松、野尻、松村の6名が参加しました。

(指導部 野尻祥枝)



## ◆全日本弓道選手権大会 奈良県予選会

平成26年6月1日 檀原公苑弓道場

<最高得点> 西浦 範光

<選考結果>

男子 : 西浦 範光、藤岡 順

女子 : 東中 千佳、野尻 祥枝



## ◆平成26年第1回伝達講習会

平成26年5月25日(日) 橿原公苑弓道場に於いて表記の講習会が、五月晴れの空の下、参加者29名で行われました。

開会式では西中会長より、今回の講習会は称号受有者対象です。奈良県の称号者は60名。参加人数が少ない。中央審査を受審する者、審査受審者でなくても、称号者として、指導者として、知識を得る為にも、多くの人に参加して欲しいと、お言葉がありました。

介添えの講評では、西中会長から、矢取を座って行うと、矢を抜く位置の感覚がつかめる。たまには座って矢取を行うとか、履物を脱いだら敷居をまたぎ、足を揃えるなど、普段の生活の中でも、作法を体に覚えこませる稽古ができますと教えていただきました。また、吉本名誉会長からは、介添えの練習を強化して行かなければいけなかった。細かい部分ができている。これが今の連盟の姿。ビデオ等参考にして、練習していきましょうと、厳しいご指摘がありました。

今年度の伝達事項は①審査席と退場口とが並列に近い射場の足さばきについて②立射の射手が坐射と一緒に持的射礼「物見返し」を行う場合について③正しい的付けについて④開き足について⑤矢束の長短について、以上5点と「密猟された猛禽類の羽根を使用した矢羽の件」です。それぞれの項目に沿って説明、研修がありました。

指導部から、スポーツ指導員更新講習会のお話があり、4年更新の際、更新の為の講習会を忘れないように受講して欲しいと連絡がありました。

競技部からは、平成26年4月1日に改定された弓道競技規則について、変更項目を「三人立ち、四ツ矢、坐射、競技の間合い」「五人立ち、一手、坐射、競技の間合い」「四人遠近競射」を、実際に行いながら詳しく説明していただきました。また、旧規則と新規則の比較、変更内容を記載した文書を競技部で作成したので、奈弓連ホームページにあげるようにすると、報告がありました。

班別射技研修では、1名を二人の講師がみる射技研修と、4名一組となり、射手、前面、背面、後方から見るものに分かれて、正しい的付けができているかの確認を行いました。

最後に指導部長から、奈弓連だより5月号の吉本名誉会長のお言葉にふれ、講習会の準備、片付け、的替えなどは、受講生みんなで行うこと。西中会長のご挨拶でも、片付けもせずにさっさと帰る者が何人もいる。各自、自覚を持って行動して欲しいと苦言をいただきました。指導部内でも不備があり、本当に厳しい講習会となりましたが、これを糧にしてより良い講習会になるよう努力し、また、奈良県の弓を連盟全員で確立する事を目指し、日々精進していきたいと思えます。(指導部 松村由喜子)

## ◆第11回奈良県中学校錬成大会

日時 平成26年5月4日(日)

会場 橿原公苑弓道場

この大会は平成26年度になって初めての県の試合となり、男子62名、女子106名の参加となりました。結果は次の通りです

<個人戦>

男子 1位 佐瀬 星斗(香芝)6中  
2位 西浦 拓志(天理南)6中  
3位 野村 昂希(八木)6中  
女子 1位 堀 愛美(香芝)7中  
2位 森島 萌(橿原)6中  
3位 富松 里帆(香芝)7中

<団体戦>

男子 1位 香芝A(牧浦,佐・,山田)  
2位 橿原A(松田,馬賣,中村)  
3位 天理南B(松本,西浦,森田)  
女子 1位 香芝A(西,森岡,富松)  
2位 大成B(古村,上田,森田)  
3位 橿原F(幸田,谷口,辰己)

## ◆香芝市選手権大会

5月11日(日)五月晴れのもと「第23回香芝市選手権大会」が香芝中学校弓道場で行われました。

竹村先生の矢渡しののち、総勢59名が各部門(中学生45名(男子21名、女子24名)、一般14名(男子11名、女子3名))において普段の稽古の成果を遺憾なく発揮していました。道場内は素直な引きをする中学生からアドバイスを受ける大人や、迫力ある大人の引きに息をのんでみる中学生、近況を愉しげに中村敬三先生に話す輪に笑顔で聞いている先生。と、終始和やかに色々な形のコミュニケーションをとりながら、皆が“弓道”を楽しんでいました。

当日の結果は以下の通りです。(1人12射 個人戦のみ)

<中学生> 男子の部 優勝 佐瀬星斗(8中)  
女子の部 優勝 芳倉夏南星(9中)  
<一般> 男子の部 優勝 宮島裕也(11中)  
女子の部 優勝 葛井麻衣(8中)

(蒼穹会 土谷尚敬)



## ◆橿原市総合選手権

去る5月11日（日）、橿原公苑弓道場及び橿原庭球場遠的射場にて、平成26年度橿原市総合選手権（兼県民体育大会市郡対抗戦橿原市代表選手選考会）を実施しました。当日は心配された雨を全く感じさせない晴天となり、日焼けも気になる中、37名もの参加がありました。

大会は県の総合選手権と同じく遠的12射、近的12射の計24射とし、男子5段以上の部、4段以下の部、女子3段以上の部、2段以下の部、オープン参加の部の5部門で熱戦が繰り広げられました。

開会式後、遠的からのスタートでしたが、遠的の経験があまりない方や初めての方もおられたため、競技開始の前に、高段者による熱心な指導のもとで試射の時間を設けました。その成果か、昨年度の国体選手の貫禄の皆中が出る中、初めての遠的的中する方もたくさんおられ、また数回の経験しかないなかで初皆中が出るなど、個々に実りのある大会であったのではないのでしょうか。

順位決定戦では、県代表選手への選出経験もある選手同士による遠近競射や、今後橿原市を引っ張っていく期待を背負った若手選手による射詰競射が行われ、最後まで気の抜けない充実した1日となりました。

大会運営について至らない点多々ありましたが、多くの方のご協力のもと、何とか無事に終えることができました。大会を最初から最後まで運営する機会に多くの人が関わったということも市の行事としての収穫の一つではないかと思えます。来年のこの大会には全員が「プラス1年」の修練を重ねてのぞむこととなります。プラス1年の成果を結果・運営に反映できるよう橿原市全体でレベルアップを図っていきたいです。

最後になりましたが、参加いただいた全員の方に感謝申し上げますとともに、県民体育大会の橿原市代表に選ばれた選手が素晴らしい結果を残せるように頑張っていきたいと思えます。

### <大会結果>

#### 男子五段以上の部

1位：奥田章人 2位：原田祐介 3位：長濱正伸

#### 男子四段以下の部

1位：松田修 2位：菅沼利人 3位：小西三津雄

#### 女子参段以上の部

1位：林秀子 2位：明崎静代 3位：小野温美

#### 女子弐段以下の部

1位：小西徳子 2位：逸崎久美子 3位：石川委久子

#### オープン参加の部

1位：新子修平 2位：岡田祐来 3位：西中正  
(橿原市弓道協会 原田祐介)

## ◆第68回奈良市民体育大会

平成26年5月11日 奈良市弓道場にて近的、奈良市多目的広場にて遠的が男子女子に分かれて行われました。当日は、五月初旬とはいえ 暑い暑い 日差しの強い一日で日焼けを気にしながらの遠的競技でした。奈良市の多目的広場での初めての遠的競技会で、場所も広々 遠的のだいごみを味わえました。結果は、次の通りです。

参加人数 224名

### 団体

#### 高校男子

1位 王寺工業 森村啓生、青木祐二、大西秀和  
2位 奈良高校 秋田真、成田悠司、大西孝典  
3位 奈良高校 吉房春輝、山田絵斗、志野僚亮

#### 高校女子

1位 西の京 山本優希菜、岡本くるみ、田代有沙  
2位 登美ヶ丘 清水絵里、小倉瑛、奥山真己子  
3位 奈良高校 丸尾セリ、玉置奈波、松岡奈央

#### 一般男子

1位 協会 天野孝雄、徳田四郎、伊藤浩  
2位 帝塚山大 木下裕哉、阪井健太、三輪航大  
3位 協会 栗栖久夫、中山誠一郎、中井達男

#### 一般女子

1位 協会 松澤和実、長谷部好子、西田ゆり  
2位 八重桜 奥戸由美、堀内亜沙子、平井撰子  
3位 奈良女大 吉野珠美、谷口碧、岸上奈津美

### 個人

#### 高校男子

1位 王寺工 森村啓生、2位 奈良 大西孝典、  
3位 王寺工 大西秀和

#### 高校女子

1位 王寺工 栗田昌捺、2位 西の京 岡本くるみ、  
3位 西の京 田代有沙

#### 一般男子

1位 帝塚山大 木下裕也、2位 中井達男、  
3位 徳田四郎

#### 一般女子

1位 奥戸由美、2位 松澤和実、3位 谷村由利栄  
(奈良支部 明瀬 綾子)

### 編集後記

今回はたくさんの方の情報提供をいただき、ありがとうございます。

掲載しきれない部分については次号へ送ります。お許しください。